

香我美購買課・山北購買課統合および新店舗のご案内

平素は、当組合の事業運営につきまして格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、香美地区ではかねてより準備を進めてまいりました『香我美購買課』と『山北購買課』を統合し、新たな店舗にて以下のとおり営業を開始する運びとなりましたのでご案内いたします。

今後とも一層のご支援ご教示を賜りますようお願い申し上げます。

開業日：令和6年11月5日（火）

名称：香我美購買課

場所：高知県香南市香我美町下分1796
（旧香我美支所）

電話：0887-55-3185

FAX：0887-55-3315

統合に伴い、令和6年10月30日（水）を持ちまして『香我美購買課（香我美町徳王子）』及び『山北購買課』は営業終了となります。

長らくのご利用、まことにありがとうございました。また、10月31日（木）～11月4日（月）の閉鎖期間は、最寄りの購買課店舗をご利用いただきますようお願い申し上げます。

ご利用の皆さまにはご不便をお掛け致しますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】香美営農経済センター 購買課 TEL 0887-56-2372

国産を食べて 国消国産を応援！

食べて応援

その1

JA直売所 キャンペーン2024

JA直売所に1回ご来店ごとにスタンプ1つGet!
2つで10・3つで20応募できます！

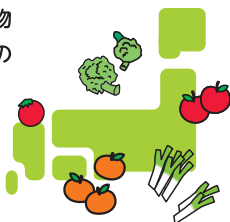
47都道府県とっておきの
3,000円相当の農畜産物・加工品が
合計14,100名様に当たります！

期間 2024年10月1日～11月30日

地域の新鮮でおいしい野菜や果物
などが並ぶ全国約1,700店舗の
JA直売所に行こう！

※一部実施していないJA直売所もあります。

JA直売所の検索も！
賞品ラインナップは特設サイトへ



食べて応援

その2

おいしい秋を、味わおう。

今がチャンス！
送料をJAグループが
負担します！

お客様の
送料負担
なし

期間 2024年10月1日～11月末日

JAタウンには、おいしい「国産」がいっぱい



おいしい日本と暮らそう
JAタウン

ご注文はこちら



耕そう、大地と地域の未来。 JAグループ

香美 地区から こんにちは

香北支所管内より



気軽に話せる場所を作りたい!

中央：北代 雅代さん(55歳)

香北町の山あいにある簡易郵便局前でマルシェが行われているのをご存知ですか？

府内簡易郵便局に勤める北代さんが「郵便局をもっと知ってもらい、通る人が気軽に立ち寄れる場所を作りたい!」という想いで約1年前から行っています。

マルシェでは米粉を使ったお菓子やカレーなどの販売や耳つぼマッサージ、ハンドトリートメントといったリラクゼーションコーナーなどが出店。「癒しのマルシェ」として地域の人たちがホッとひとときつける場所を目指して2カ月に1回、奇数月に開催しています。

「人と話すことが好きで多くの人たちとつながりを持ちたい」と話す北代さん。今後もマルシェを続け、いずれは自ら作ったハンドメイド商品を販売したいと今後の夢を語ってくれました。



『癒しのマルシェ』
開催日：奇数月第3日曜日
開催時間：10時～15時
開催場所：府内簡易郵便局前



地区担当者より



方言を残していきたい!

高知県立山田高校グローバル探究科2年
松永 真衣香さん(16歳)

今までやったことのない探究活動をしたという思いでグローバル探究科に入学した松永さん。実際に1年次にグループ活動を経験し「多くの人と意見交換をすることで刺激を受けることもあり、やりがいを感じていた」と話します。

現在は、地域のためになる活動がしたいという思いもあり『方言をどんな方法で残していくことができるのか?』というテーマで探究活動を開始。松永さんは「百人一首を土佐弁に直し、中高生に遊んでもらうことで方言に興味を持ってもらいたい」と考え、現在は百人一首の現代語訳や土佐弁について勉強するとともに、方言を残す理由を考えるなど原点回帰をしながら、高知大学の先生にアドバイスをもらい考察を深めています。

探究活動を通して発表する機会も増え、苦手だった人前での発表や質問もできるようになってきた松永さん。これからも経験したことを活かしながら探究を続けていこうです。



野市支所管内より



衣装を作ることが好き!

竹村 秋音さん(26歳)

幼いころからお母さんが裁縫をしているのを見て、自分でもミシンを使ってみたりして、そこから少しずつ仕事にしたいという想いが生まれていった竹村さん。

専門学校卒業後は、東京の縫製工場に就職しましたが、そこで経験を積むうちに、「アイドルの衣装を作りたい」という想いから別会社で有名アイドルグループの衣装制作に携わりました。

その後、生まれ育った高知で活動したいと昨年4月に帰郷。高知に帰ってきてからは、土佐山田町のチャレンジショップで経営を経験。現在は受注制作をメインにフリーランスで活動しています。「東京の時とは違い、1人で活動しているためお客さんのスケジュールに合わせ、制作期間を考えながら調整しないといけないことが大変です。でも、作ることが好きなので、嫌になることはなく、もっと個人で頑張っていきたいです!」と目を輝かせて話す竹村さん。

今後は、「もう一度アイドルの衣装制作に携わってみたい」という想いを胸に活動を続けていこうです!



竹村さんが制作した衣装



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



「タケノコ、リュウキュウ、シイタケ、ミョウガ、コンニャク」の田舎寿司を協力して作りました。

1 香北支所管内

土佐田舎寿司づくり教室を開催

女性部土佐香美地区香北支部は8月19日、田舎寿司づくり教室を開催しました。郷土料理を学びたいとの声が多く、今回取り組み部員18人が参加しました。講師は小松利子支部長が務め、参加者に素材の特長を生かした調理方法などを指導しながら和気あいあいとした雰囲気の中行われました。料理教室では各班で食材をそれぞれ担当し調理。出来上がった田舎寿司を一皿ずつ盛り付け、試食をしながら各家庭の作り方を話し、部員同士の交流を

深めました。小松支部長は「県外からのお客さまや家族でもおもてなし料理として各家庭で作り、楽しんでもらいたい」と話しました。



収穫の様子。

2 香我美管内

香りが強い果汁たっぷりの「グリーンレモン」



香美地区果樹部温室レモン研究会が栽培する「グリーンレモン」の収穫が最盛期を迎えました。黄色く色づく前に収穫する香り高いグリーンレモン。生産地の山北では、酸味の中に甘みがありおいしいと評判で、料理や飲み物などで楽しまれています。同会では14人の生産者が196アールで栽培しており、近年生産者も増加。6月より出荷が始まったグリーンレモンは10月いっぱいまで収穫され、その後、県内をはじめ大阪や名古屋、東京などに出荷されます。今年も昨年より多い40tの出荷を見込んでいます。副代表を務める近森寛臣さんは「今年も例年通りよいレモンができたので、多くの人に味わってほしいです」と話しました。

今年も例年通りよいレモンができたので、多くの人に味わってほしいです」と話しました。

3 物部管内

物部柚子生産部会 栽培体験を実施



栽培体験をする市場関係者。

物部柚子生産部会は7月23日、同部会の宇田圭佑さんのほ場で県外市場関係者ら11人がユズの栽培体験を行いました。ユズ産地での栽培体験を通じて、その品目に対する知見の向上および市場関係者との意見交換を行うことで、有利販売につなげていくという目的で行われた今回の栽培体験。市場関係者らは果実の日焼けを防止する「サンテ」と呼ばれる不織布をユズにかぶせる作業を体験しました。体験をした県外市場関係者は「暑い中作業をされている生産者の苦労を知ることができた。今後はこの体験をもとに、物部ゆずをしっかりと販売していきたい」と話しました。

4 夜須管内

エコープマーク品「ゼリーの素」講習会を実施



講習会の様子。

7月24日に家の光記事活用グループ「meanズ」が徳王子公民館でエコープマーク商品のゼリーの素の講習会を開きました。今回はmeanズメンバーの他に、女性部夜須支部やフレッシュユース部の部員など14人が参加。講習会ではゼリーの素の原材料が海藻であることなどの説明やゼリーの素を使ったレシピが紹介されました。実際にゼリーの素を使った「茶金絞りゼリー」などを参加者で作って試食も実施。「簡単に作ることができた」「おいしかったので家でも作ってみたい」などの声も聞かれにぎやかな会となりました。

5 地区本部

香美地区 「青果物」販売取引検討会



検討会の様子。

香美地区園芸部、果樹部、生姜生産部会は7月25日、令和6園芸年度香美地区「青果物」販売取引検討会を一寿司会館にて開催しました。生産者やJA役員をはじめ全国14の市場関係者など103人が出席。来年度の生産や販売について話し合いました。令和6園芸年度に関しては異常気象などの影響で、各品目異なる結果となりましたが、数量減で販売高傾向になったことが報告されました。県外市場からの情勢報告や質疑応答も行われるなど令和7園芸年度に向けての有意義な会になりました。

6 土佐山田支所管内

土佐山田支所でCM撮影

JAグループ高知 YouTube



撮影の様子。

8月6日、JA高知県土佐山田支所で高知さんさんテレビ「さんのすけ 仕事したい」の撮影が行われました。今回の撮影は、就職活動中のリクルーと家族を対象にJAの仕事内容の理解につなげることを目的に行われました。当日は営業指導員の業務の様子や窓口の様子などが撮影されたほか、高知さんさんテレビのキャラクターさんのすけがJAを訪問し、仕事内容など職員インタビューを交えて紹介しました。撮影の様子は11月～来年3月まで月1、2回放送予定の他、JAグループ高知のYouTubeチャンネルでも配信されています。

チャレンジ！ 家庭菜園

小松菜のトンネル栽培 寒さでうま味が増加

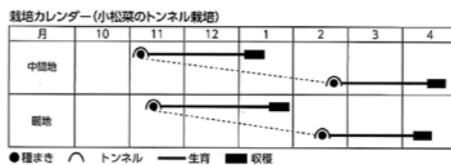
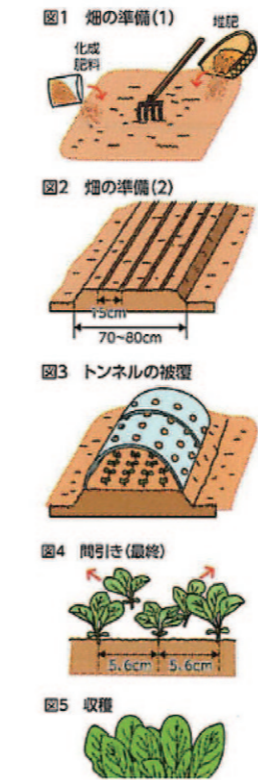
小松菜はビタミン類、カルシウム、鉄分を多く含む緑黄色野菜で、特に冬採りは栄養価が高く、甘味も増し最もおいしくなる栽培時期です。【品種】近年は葉が丸く、緑が濃い品種が好まれ、秋冬まででは「はまつつき」(サカタのタネ)、「楽天」(タキイ種苗)、「よかつた菜」(カネコ種苗)などが良いでしょう。

【栽培期間】冬まき(12~2月)はトンネルやべたがけ資材で保温し、60~90日で収穫できます。中間地ではほぼ通年栽培ができ、草丈20~25cmを目標に、春まき(3~5月)は30~50日、夏まき(6~8月)は20~25日、秋まき(9~11月)は30~60日で収穫できます。生育が早く収穫遅れになりやすいため、1週間置きに少しずつまき、長く収穫を楽しむのが良いでしょう。

【畑の準備】種まき2週間前に1平方m当たり苦土石灰100gをまいて畑をよく耕し、1週間前に化成肥料(NPK各成分10%)100gと堆肥2、3kgを施し、土とよく混ぜておきます(図1)。幅70~80cmの栽培床を作り、畝に平行に条間15cm程度の種まき溝を切ります。このとき、まき溝は支柱や木版を土に押し付け、溝を付けると深さが一定になります(図2)。

【種まき】種が重ならないように1cmくらいの間隔でまき、土を軽くかぶせておきます。【トンネルの被覆と管理】トンネル内の温度は晴天の昼には高く、夜間は外気に近い温度になります。冬から春にかけては気温上昇期に当たり、容易に30度を超えるため、温度が上がり過ぎないように換気が必要です。資材は穴のないフィルムでは裾を大きく開けたり、開ける穴の数を増やしたりして、春に向けて徐々に換気量を増やします。有孔フィルムを使用すれば日中の高温は防げます(図3)。トンネル内をさらにべたがけ資材で被覆すれば厳寒期の霜害予防になります。

【間引き】初めは本葉が見える頃に子葉の重なっているところを間引きます。その後、葉が触れ合う程度に間引き、最後に5、6cm程度にします。間引き後は株のぐらつきを防ぐため、株元に土寄せします(図4)。【病害虫の防除】害虫の発生は少なく、病気では白さび病が発生したときは、ダコニール1000などの農薬で防除します。生育期間が短いので農薬の使用は生育初期に限りです。【収穫】草丈20~25cm程度で根を付けて抜き取り収穫をします(図5)。収穫が遅れると葉が堅くなり食味も落ちます。なお、外葉から必要だけかき取れば、長期に収穫ができます。



えいのう〜 役立つ! 得する! 情報



ブロッコリー

菌核病

症状・発生条件
菌核病に感染すると、葉の根元や茎の枝分かれ部分などに暗緑色で水浸状の病斑が出現します。

病斑は、徐々に広がり、白い綿毛のようなカビ(菌糸)を発生させながら、植物全体を腐敗させ、表面には、灰黒褐色でネズミの糞状の菌核を形成します。

多犯性でアブラナ科、ナス科、ウリ科など多くの作物を侵します。

発生しやすい条件
秋と春に発生しやすく、子のう盤の形成に好適な気温(15~20℃)の時期に、大雨があったり降雨が続くと湿度条件も好適となるので発生が多くなります。

防除ポイント
発生ほ場での連作を避け、発生状況や発生条件を考え、予防的に薬剤散布します。発病株は菌核を形成しないうちに抜き取り、ほ場外に出します。肥培管理を適正にし、過繁茂とならないようにします。



初期の水浸状症状 白色綿毛状のカビ

黒すす病

症状・発生条件

近年被害が拡大している病気で、花蕾および葉に発生します。葉には輪紋状の褐色から黒褐色の病斑を生じ、花蕾には、黒色の小斑点が生じたのちに拡大し、黒褐色に腐敗して周辺の蕾は黄変します。

発生しやすい条件
黒すす病は18~35℃で発病し、特に20~31℃前後が発病の適温で、9月~11月に発生が多い病気です。病原菌(糸状菌)は、病斑上に生じた胞子が風雨で飛散して伝染、または、残渣と共に土壌中で生存するため、次作でも発生の可能性があります。特に、天候不順により発生が助長され、9~10月が高湿・多湿の場合は注意が必要です。

防除ポイント
連作を避け、緑肥作物を栽培します。また、多発したほ場では土壌消毒を検討します。発病期には、病斑の発生前から薬剤散布を行います。特に、葉に症状が見られる場合は、出蕾前の防除を徹底します。



花蕾の症状 茎柄の症状

春菊

ネキリムシ類

作物の地際部を食害するヤガ(夜蛾)類の幼虫の総称で、根を切られたように見えるためネキリムシ(根切虫)と呼ばれています。

生態
4~5日でふ化し、約30日の幼虫期間を経て土の中でサナギ化します。

発生
4月~11月までに年3~4回ほど発生します。

被害
ふ化直後は葉を食害しますが、摂食量が少ないため被害は目立ちにくいですが、中齢期以降、昼間は土の中に潜伏、夜間に地表に出て新芽や定植した若苗の茎葉や生長点を食害し、根元をかみ切ります。株は折れて枯れてしまう場合があるので被害は大きいです。

対策
苗が倒れていたらネキリムシの可能性が高いです。被害にあった苗の付近に潜伏しているの土の中を数センチ掘り返し、見つけたら駆除します。

べと病

べと病菌(カビ)の寄生により、葉が侵される病害です。

発生条件
冷涼多湿条件下での発生が多く、11月頃の降雨後に発生しやすいです。

被害
葉は黄化した病斑が見えるようになって、裏側には白色霧状のカビが見られます。病斑は拡大、枯死して褐色となります。病状の進行は極めて早く、数日では場全体に広がります。

対策
窒素過多や過繁茂状態は発生を助長します。通気性をよくして換気管理を行い、排水を良好にして過湿を避けます。発生があれば早めに除去し、ほ場外へ持ち出し処分します。

登録薬剤
クプロシールド(使用濃度10000、20000倍)
Zボルドー(使用濃度5000倍)



黄化症状

- **登録薬剤**
 - **定植時**
 - **生育初期**
- カルホス微粒剤F(作業処理土壌混和)
ガイトベイトA(株元散布)

※農薬を使用する際は、ラベルに表記された使用方法を厳守し、表示事項を守りましょう。

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

「JA高知県女性部土佐香美地区」主催

令和6年度 土佐香美“おんな塾”簡単おつまみおせち料理教室

香美市会場

と き 令和6年11月20日(水)
13:00～15:30(予定)

と ころ 香美市中央公民館 2F 調理室

※会場の都合により、開催日が前後する場合がありますことをご了承願います。

香南市会場

と き 令和6年11月30日(土)
13:00～15:30(予定)

と ころ 山南防災コミュニティセンター 調理室
(香南市香我美町下分1792-2)

定 員 各会場 15人(先着順)

対 象 者 管内の女性
・JA高知県香美地区管内にお住まいの方
・組合員とご家族 ・女性部員

参 加 費 1,000円 ※ペットボトルのお茶を準備します。

講 師 JA高知県女性部土佐香美地区女性部員

申 込 み 令和6年11月1日(金)より受付開始。
※定員になり次第終了します。

申込・お問合せ JA高知県香美地区本部 企画組合員課
【TEL】0887-56-0121



家の光令和6年12月号に掲載されるレシピを女性部員と一緒に作り、新年にはご自宅で簡単でおしゃれなおせち料理を食べながら過ごしませんか？

かまぼこカナッペ

今月の俳句
皆さんから届いた俳句をご紹介します。
夏野菜
使って作る
チキンカレー
(香南市夜須町・81歳)

今月号の新米のページのカップリング！とても参考に
なり、ぜひそれぞれのお米
を食べてみてください。
(香美市土佐山田町・76歳)

高知県産の新米の食べ比べ
をしようと思います。
(香美市土佐山田町・71歳)

そろそろ新米の季節なので
特集記事の「ごはんのお
供」で新米をぜひ食べてみ
たいです。
(香美市土佐山田町・52歳)

▼こうぐり8月号特集2
「新米をもっと楽しむ 高知
県産米Xご飯のお供」につ
いてのお便りをいただきま
した。今回紹介されたご飯
のお供はどれも食欲そそる
ものばかりでしたね。個人
的には土佐のぶしみが気
になります！ご飯にのせ
て食べるもよし、解いて味
噌汁にしてもよしと色々な
味わい方がありそうですね。

廃ポリ・廃プラ回収日

◆ 廃ポリ

香北支所	とき: 11月7日(木)	午前9時～11時
土佐山田支所	とき: 11月29日(金)	午前9時～11時
野市支所	とき: 11月15日(金)	午前9時～11時
夜須	とき: 11月12日(火)	午前8時～9時30分
吉川・香我美・赤岡	とき: 11月14日(木)	午前8時～10時

◆ 廃プラ(ビニール)

香北支所	とき: 11月19日(火)	午前9時～11時
野市支所	とき: 11月6日(水)	午前9時～10時
吉川・香我美・赤岡	とき: 11月21日(木)	午前8時～10時

◆ 塩ビ(畔波・かん水パイプ)

野市支所 とき: 11月1日(金) 午前9時～10時

◆ 糸入りフィルム

香北支所	とき: 11月19日(火)	午前9時～11時
土佐山田支所	とき: 11月8日(金)	午前9時～10時

回収場所

香北支所は生姜予冷庫前、土佐山田支所は土佐山田購買課西側駐車場。野市支所、夜須、吉川・香我美・赤岡は旧香我美ライスセンターとなっています。

回収にあたってのご注意

ビニール・ポリ以外の異物(泥土・ゴミなど)が付着すると、費用負担が多くなり、何よりも土の微粒子等が飛散することにより近隣住民に大きなご迷惑となります。回収にあたり、異物を十分に取り除いて頂きますようお願いいたします。

※問い合わせ先 香美営農経済センター 購買課 0887-56-2372

【連絡先】

高知県農業協同組合 香美地区本部

〒781-5295 香南市野市町西野2704-2
TEL.0887-56-0121

野市支所 56-0921 香北支所 59-2321
土佐山田支所 53-2155

香美営農経済センター 56-2372

物部購買課 58-2144	物部集出荷場 58-3053
香北購買課 59-3353	香北集出荷場 59-3548
土佐山田購買課 53-3101	土佐山田集出荷場 53-4124
野市購買課 56-3568	
野市・吉川集出荷場(野市) 56-0123(吉川)	55-2117
夜須購買課 54-2157	夜須集出荷場 54-2231
香我美購買課 55-3185	香我美集出荷場 55-4118
山北購買課 55-2185	山北果樹集出荷場 55-4165

特産センター 56-0061 車輛センター 56-0314
農機センター 53-4221 LPガスセンター 53-4353

JA共済高知中央サービスセンター 088-821-6015
JA葬祭会館「ルミエールとさかみ」 56-5911(24時間対応)